



南木曾に住もう!



なぎぞまち



the most beautiful
villages
in japan

南木曾町は
「日本で最も美しい村」
連合に加盟しています



JAPAN HERITAGE

日本遺産

なぎそまち 南木曾町っつ こんなところ

豊かな自然の恵みと、 歴史が香る文化の町。

南木曾町（なぎそまち）は長野県の南西部・木曾谷の南端に位置し、岐阜県中津川市に隣接しています。東西20km、南北15km、周囲70km、総面積は215.93km²にもおよびますが面積の9割は森林で、人口は約4000人の小さな町です。

木曾川とその支流の狭い段丘上に、与川・北部・三留野・妻籠・蘭・広瀬・田立の7集落が点在し、各集落の標高は約300mから約950mにわたります。

町の中心部を流れる木曾川沿いには南北にJR中央西線と国道19号が走り、東西には、国道256号が伊那谷に通じています。隣県の中津川市中心部まで約22km、県内近隣市町村の木曾町まで約35km、飯田市まで約35kmの距離にあり、古くから伊那谷、木曾谷、東美濃を結ぶ交通の要衝でした。

気候的には比較的温暖ながら雨量が多く、急峻な地形は幾多の土石流災害を引き起こす一方で豊かな森林資源を育み、町は古くから木材生産・加工業を基幹産業としてきました。

近年は国選定重要伝統的建造物群保存地区の妻籠宿や、国の近代化遺産に指定された桃介橋をはじめとする恵まれた文化遺産と、新たに開発された温泉の活用による観光産業が町の主要産業に位置付けられるようになってきました。



■ なぎそねこ

南木曾町に伝わる伝統工芸の作業現場から生まれた防寒着。手元が邪魔にならず背中中はポカポカという優れものです。



■ 天白公園

公園内には6種類のミツバツツジが群生し、見頃は4月中旬。中でもナギソミツバツツジは南木曾町近辺だけの珍種です。



■ 妻籠宿

慶長六年(1601年)、中山道42番目の宿場として整備された妻籠宿は、全国の町並み保存事業の先駆け的存在です。



■ 桃介橋

電力王福沢桃介が水力発電開発のために木曾川に架けた全長247mという日本でも最大級の吊り橋です(国の重要文化財)。



南木曾町

NAGISO TOWN

都市圏へのアクセス

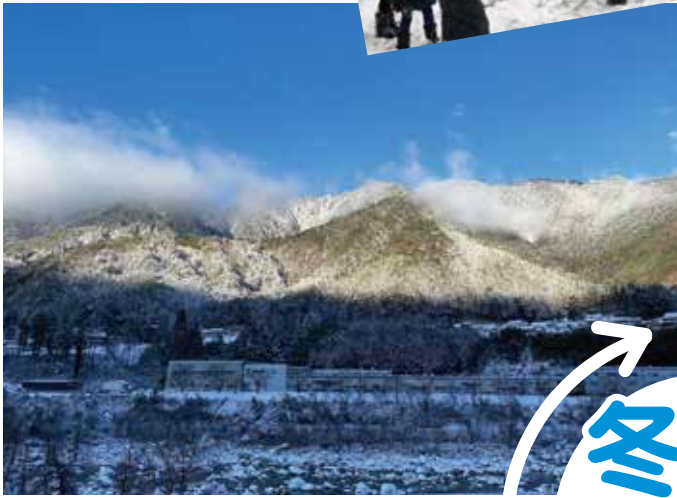
- 名古屋市まで** 中央自動車道 経由 約1時間50分
- 長野市まで** 長野自動車道 経由 約3時間
- 東京都まで** 中央自動車道 経由 約4時間20分
- 大阪市まで** 中央自動車道・名神高速道路 経由 約3時間50分

※所要時間は目安です。道路状況により変わります。



なぎそまちの四季

雪化粧した町並み
 雪が降るので、車の運転はいつにも増して慎重になります。子どもからお年寄りまで「なぎそねこ」で防寒対策をしています。健康講演会やスポーツ大会のおかげで、冬でも運動不足を解消できます。



冬
秋

花と緑に囲まれる

ミツバツツジや菜の花、花桃など色とりどりの花が咲きます。ツツジ祭りが開催され、花や出店を楽しむ人で賑わいます。ハイキングに訪れる人が増えてきて、お茶摘みも始まります。



春
夏



日陰と水遊びで涼む
 都会に比べると涼しいです。各地区では、夏祭りや公民館行事、立派な野菜たちが販売される「軽トラ市場」が開催されます。消防大会に向けて、消防団は少し忙しくなります。

収穫や祭りで賑やか

各地区の秋祭りや運動会が開催されます。野菜の収穫なども始まり、町全体がとても賑やかな季節です！有名な「文化文政風俗絵巻之行列」、「花馬祭り」も行われます。

公共施設

南木曾町役場



南木曾町社会体育館

三留野地区の中学校近くに位置し、イベントや健康サポートなどの活動の場となっています。施設の1階にはNPO法人なぎそチャレンジクラブの事務所があります(13P)。また、2階にはトレーニングルームがあり、様々な運動器具を利用することができます。



南木曾会館

南木曾駅からは車で5分と町の中心部に位置しています。町教育委員会の事務所があり、本の貸し出しも行っていきます。子育て支援の活動や生涯学習教室、各種イベントなども行われています。また、近くには渡島総合グラウンドがあり、野外スポーツなどに利用されています。



与川地区

最寄りの駅【JR南木曾駅】
※与川集落から車で15分

木曾川の支流である与川(よがわ)が流れ、その段丘に沿うように集落が点在しており、約60世帯が暮らしています。

与川地区には、三留野宿(町内)から大桑村の野尻宿(隣村)までを結ぶ「中山道 歴史の道 与川道」が通っており、ハイキングに訪れる人も多くいます。ほかに「白山神社」や「古典庵」があり、春と秋には白山神社で祭礼が行われ、無形民俗文化財となっている神楽獅子が奉納されます。神社境内には、目通り周囲8.2mと6.7mの大杉が2本あり、町の天然記念物に指定されています。中秋の名月の日には古典庵で観月会が行われ、ここから眺める名月は木曾随一と言われ、「木曾八景」に数えられています。



与川白山神社祭礼



観月会で中秋の名月を楽しむ様子

北部地区

最寄りの駅【JR十二兼駅】
※北部集落から車で10分

木曾川の支流である柿其川(かきぞれがわ)や岩倉川(いわくらがわ)が流れ、それぞれに沿うように集落が点在し、木曾川に並走する国道沿いにも集落が点在し、約110世帯が暮らしています。

柿其川は「秘境 柿其溪谷」と称され、遊歩道を歩くと見えてくる美しいエメラルドグリーンの川面や、壮大な牛ヶ滝(うしがたき)などの観光スポットがあり、森林浴を楽しむことができます。

柿其溪谷から大桑村の阿寺溪谷(隣村)までを結ぶハイキングルートには「恋路峠」があり、長野県知事より「信州ふるさと」の見える丘に認定されています。恋路峠の展望台からは木曾川や中央アルプスを眺めることができるほか、ハート形の「恋愛成就の鐘」を鳴らすことができます。



恋路峠の展望台から見える景色は絶景!!



柿其溪谷

三留野地区

最寄りの駅【JR南木曾駅】
※集落の中心にあります



ミツバツツジの群生



福沢桃介の建てた別荘で「福沢桃介記念館」として公開

南木曾町の中心部であり、役場や金融機関、JR南木曾駅、保育園、小中学校など、主要施設があり、約600世帯が暮らしています。木曾川の段丘に沿った地区で、町の中でも比較的平地が多くあります。大正時代、木曾川の水力発電に情熱を注ぎ電力王と称された福沢桃介ゆかりの近代化遺産の桃介橋(247m)や記念館などがあり、「大正ロマン」の面影を感じることができます。その一帯は天白公園として整備されていて、町民の憩いの場にもなっています。春には園内の高台で町花でもあるミツバツツジの群生が美しく咲き、訪れた人の目を楽せます。中でも「ナギソミツバツツジ」は南木曾町周辺で見ることのできない貴重種です。

妻籠地区

最寄りの駅【JR南木曾駅】
※集落の中心から車で10分



妻籠宿



中山道の一石柅立場茶屋は、ハイカーに人気の無料休憩所

国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている「妻籠宿」は、中山道とともに国際観光地としても有名です。蘭川沿いの妻籠宿とその周辺集落に約240世帯が暮らしています。江戸時代の街道宿場の様子を色濃く残している妻籠宿の町並みは、昭和43年から住民が中心となり始められた保存事業のたまもので、その後全国各地で行われることになる町並み保存の先駆けになりました。暮らしを営む住民と旅人との交流することで、この地区ならではの情緒が醸成されています。周辺には田畑や山々の風景の中に歴史的史跡が点在し、近年はお隣の馬籠宿から妻籠宿まで山の中の街道を歩いて旅する外国人ハイカーで賑わいを見せています。

蘭地区

最寄りの駅「JR南木曾駅」
※集落の中心から車で15分

蘭川沿いの段丘の国道256号沿いに約200世帯が暮らしています。木工芸の里とも呼ばれ、かつては木工業が盛んだった集落で、現在も町内の主要産業である木材産業事業所があります。この地区では江戸時代から続く伝統工芸の「松笠」が有名で、松を薄く削って細長い短冊状にしたものを美しい笠に編みこむ技が伝承されています。日本遺産木曾路の構成文化財にもなっている松笠は、妻籠宿の観光客や御嶽山の登山客等を中心に、実用笠や飾り笠として根強い人気を保っています。また、温泉やキャンプ場、さらに日本三百名山のひとつである南木曾岳への登山口があり、アウトドアを存分に楽しめるフィールドが広がっています。



工芸街道祭り(蘭松笠の実演)



南木曾山麓蘭キャンプ場開き 南木曾岳登山安全祈願祭

広瀬地区

最寄りの駅「JR南木曾駅」
※集落の中心から車で20分

蘭川沿いの段丘に約90世帯が生活しています。この地域は、300年の歴史をくむ国の伝統的工芸品「南木曾ろくろ細工」を生産する「木地師の里」として知られています。南木曾の森林に育つケヤキ、トチ、センノキ、カツラなど良質な広葉樹を、代々引き継がれてきたろくろ挽きの技で加工し、木地鉢や茶櫃(ちゃびつ)などが盛んに造られてきました。木目の美しさ、手触りのやさしさが特徴で、匠の技術の粋を楽しむことができます。その他にも桶、まな板、椅子など、木工品の生産も盛んです。花桃が咲き誇る富貴の森温泉郷や自家製ヤギチーズを楽しむことができるヤギ牧場があり、国道256号で清内路峠を越えて飯田市へ約40分で行くことができます。



南木曾ろくろ細工(国指定伝統的工芸品)



ヤギ牧場

田立地区

最寄りの駅（JR田立駅）
※集落内にあります

町内の最南西に位置し、隣接する岐阜県中津川市にもほど近い地域で、約310世帯が暮らしています。一年中楽しむことができる「田立の滝」は、大滝川の渓谷にかかる趣のあるいくつもの滝を、初心者から健脚の人までレベルに合わせて楽しめる観光スポットです。また、田立は伝統的な文化や産業が息づく地域でもあり、手漉きの技を守る和紙作りや、昼夜の温度差により美味しく育つお茶の栽培が盛んです。

秋には、約300年の歴史を持つ「田立の花馬祭り」が行われます。五穀豊穣に感謝を表す活気あるお祭りで、県の無形民俗文化財に指定されています。ほかにも、町の無形文化財に指定されている「田立歌舞伎」があり子ども歌舞伎も盛んです。



花馬祭り



地元蘇南高校生による茶摘み

自分の住んでいる町は自分達で守る！

町の消防団として活躍！

南木曾町消防団は、本部分団、第1分団、第2分団、第3分団、ラップパ隊で組織されていて、男女問わず地元の人たちが活動しています。

「自分の住んでいる町は自分達で守る」という強い信念を持ち、町民の尊い生命と財産を火災などの災害から守るために活動しています。

消防団員は非常勤の特別職の地方公務員

火災や大規模な災害が発生した時に、住民の皆さんに最も身近で、地域に最も密着した消防機関として、災害防衛、水防活動に従事します。



1月 出初式挙行



防災訓練の様子



主な活動内容

火災の消火・予防活動、訓練、
河川氾濫時の水防、活動、遭難
者・行方不明者の捜索など

暮らしし(住まい)

南木曾町に移住して暮らす…となれば、必要になってくるのが住居です。南木曾町では「町営住宅」「空き家活用」それぞれの情報を提供しています。

空き家の賃貸・売却を希望する所有者から提供された情報を、空き家をこれから利用・活用したいとお考えの方に紹介する「**空き家バンク制度**」があります。



南木曾町に住みたいけど住むところはどうしようかな…



一軒家がいいな…



ホームページに掲載されるよ!

情報の閲覧



町HPIに掲載された登録物件は、どなたでも閲覧できます。

色々あるな…この物件を見たいな!

「空き家バンク」の利用登録



空き家の購入・賃貸を希望する方は、利用希望者登録と、誓約書を提出してください。

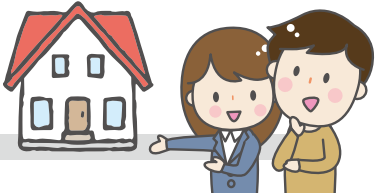
町営住宅に関する情報
役場 環境住宅係



空き家に関する情報
役場 元気なまちづくり係



紹介(見学)



町担当が見学希望の登録物件をご案内します。

交渉・契約



売買・賃貸借の交渉、契約などは**当事者間**で行っていただけます。

片付け・修繕



さあ、住む準備をするぞ!

空き家をお持ちの方・ご利用する方のための**補助金交付制度**があります!

対象内容

- ・空き家の所有者が行う、建物内外の片付けや掃除 (補助率10/10、上限10万円)
- ・空き家の利用者が行う、建物(空き家)の修繕 (補助率1/2、上限50万円)

※居住目的の利用に限る
※片付けおよび修繕の委託先は町内業者に限定
※修繕可能な範囲などは契約条件によって異なりますのでご注意ください

対象者

- ・空き家の所有者
- ・空き家の利用方で、南木曾町に5年以上定住の意志がある方

※空き家の賃借または売買契約が成立した場合に限る

南木曾町空き家利活用推進補助金

南木曾町内の空き家活用を推進するため、売買・賃借契約が成立した空き家内外の片付けや建物を改修する場合に、それに要する費用の一部を補助します。空き家の所有者・利用者の負担を軽減することで、より一層、空き家の利活用を推進するための制度です。

主な流れ

業者へ見積依頼

町へ申請書提出

審査・交付決定

工事実施

町へ実績報告書・請求書の提出

審査・現地調査

補助金交付



詳しくはこちら

「空き家バンク」利用者さんの声

Q 素敵な古民家ですね。
ここを手に入れた経緯は？

直緒さん いずれ一軒家を持ちたいという思いが二人ともありました。町に空き家バンク制度があることを知り、自分たちの希望条件も伝えて登録したんです。するとホームページで一般に情報が公開される前に「ご希望の物件が出ました」と連絡してもらえて、ここに決められました。

Q リノベーション(改修)をされましたか。
靖博さん 古民家ならではの建物の造りな



たつの やすひろ なお かや
立野 靖博さん(北海道出身) 直緒さん(東京都出身)ご夫妻 と 加弥ちゃん

立野さんご夫妻は、2016年の結婚を機に南木曾町へ移住しました。最初の住居はアパートでしたが、2020年に空き家バンク制度を利用し念願だった古民家を手に入れ、親子3人で仲良く暮らしています。



ど良さは残しつつ、家族3人での快適さは手に入れたかったので、畳をフローリングにしたり、断熱材を入れたり、風呂場に暖房をつけるなどリノベーションしました。そういった工費に町の補助金を使ったのもずいぶん助かりましたね。

Q リモートワークをされているのですか？

靖博さん 南木曾町に移住する前は、愛知県でIT関連の仕事を長年続けてきましたが、同じ業種で完全なリモートワークが可能な会社へ転職したことで、家に毎日

居ながらオフィスと繋がって仕事ができるようになったんです。

Q 南木曾暮らしを楽しんでいますか？

直緒さん 娘を連れて散歩していると、おじいちゃん、おばあちゃん達が家から顔を出して声をかけてくれたり、ご近所さんがいろいろ仲良くしてくださって助かっています。自分たちの家を手に入れ庭が手に入ったので、暖かくなったら娘と一緒にハーブなどを植えて育てたいなと思っています。



南木曾町は豊かな森林資源を活用し、古くから木材の生産と加工を基幹産業としてきました。しかし近年では、中山道の宿場風情を愉しめる「妻籠宿」や、国の近代化遺産に指定された木曾川に架かる「桃介橋」等、恵まれた文化資源を活かした観光産業が主要産業に位置づけられるようになってきています。

南木曾町へ移住された方の中には、「南木曾だからこそこの仕事を見つけた!」という方、また「里山暮らしの良さを発信し続ける」そんな想いを持って移住された方々をご紹介します。

見つけた！南木曾だからこそこの仕事 ～和の粋を凝らした古民家ホテルで働く～

豊かな自然と日本の伝統文化が調和し息づく里：南木曾町だからこそ成立し得た古民家ラグジュアリーホテル「Zenagi」(ゼナギ)は、町の西部、田立地区にあります。

このスタッフとして働いているのが、栗原ダビさん。ヨーロッパ、ピレネー山脈に抱かれたアンドラ公国で生まれ育ったダビさんは、三重県にある「志摩スペイン村」のショー出演者として日本に滞在中、奥さんのまいいさんと出会い結婚。近年はまいいさんの実家がある神奈川県で暮らしてきましたが、魅力的な働き場所を探していたダビさんが、スタッフ募集中



だったZenagiのことを知り、さっそく就職を決め、2020年、一家で南木曾町に移住してきました。

「仕事はともやりがいがあります。木曾の自然や文化から生まれる本物の寛ぎを旅人に提供するこの施設には、オーナーである岡部統行さんの思いがたくさん詰まっています。それをゲストにストーリーテリングしながら交流できる喜びがあるのです。」

「人が温かい町っていいなあとしみじみ感じています。」そうおっしゃる奥様のまいいさんやお子さんたちも町に馴染み、栗原家の南木曾ライフが始まっています。

「UIJターン就業・創業移住支援事業」を行っています

町では、南木曾町へUIJターンで移住し、起業や就業をする方への応援事業として、南木曾町UIJターン就業・創業移住支援事業補助金を交付します。詳しいことを知りたい方は役場ホームページでご確認ください。



単身者
最大60万円

2人以上世帯
最大100万円

世界の旅人と地元の人々が出会う『窓』となることが願い ～「株式会社フォークロア」がめざすもの～

かつて地域おこし協力隊員として南木曾町に移住し、築200年以上の古民家を「ツッコツと2年かけてリノベーション、宿泊施設「結い庵」として起業させた熊谷洋さん。さらに活動を拡げ、2019年には、そのほとんどがインターンやUターン者という仲間と共に「株式会社フォークロア」を設立。旧中山道の宿場に残された町屋のゲストハウスとしての再生や、南木曾駅の真向かいで10年以上空き家だった建物をリノベーションし、やはりゲストハウスとして開業するなどのプロジェクトを進めてきました。

「時代に取り残されたものの中にある美しいものを



未来に手渡したい。だからこそ地域を深く知り、人と対話し、構想を膨らませていく。それは、遅くて非効率で時代の流れに逆らうこと、そう言う人もいるかもしれませんが。しかし今という時代だからこそ、それはやる価値があることだと僕は信じて取り組んでいきます。

自然の中でのびのび遊んでいる娘の姿をみていると、ここに来て本当に良かったと思うという熊谷さん。

「移住を考えているなら、一度うち(の宿)に遊びに来ませんか。アドバイスくらいはできるかも…」とのこと。

健康サポート

南木曾町には「笑顔こぼれるまち南木曾」を願い、生涯スポーツの振興と町民同士の交流の場をめざす「なぎそチャレンジクラブ」があります。

町民が子どもから大人まで「いつでも」「どこでも」「だれとでも」「いつまでも」スポーツに親しむことをサポートしています。

参考

- ヨガ
- フラダンス
- 太極拳
- コアトレ&ピラティス
- ノルディックウォーキング
- ウォーキング
- 健康マージャン
- バレーボール
- バスケツトボール
- バドミントン
- 卓球
- 剣道
- 野球
- サッカー
- 和太鼓
- バレエ



お問い合わせ

「NPO法人なぎそチャレンジクラブ」 TEL0264-57-3001
各定期教室も参加者・体験者を年間通して募集しています。

なぎそチャレンジクラブ公式アカウントを「友だち追加」してください。
イベントなどの情報をお届けします。また、チャットで問い合わせや参加申し込みができます。

☆おやこのひろば

月曜日から金曜日（※祝祭日などを除く）の9:00～15:00の間、0歳から未就園の子どもと保護者（※祖父母の同伴も可）の方が気軽に遊びに来られるひろばです。絵本やおもちゃなどで遊んだり、他の利用者さんとお子さんを一緒に遊ばせるなど、スタッフも関わらせていただきながら、お子さんの成長や子育てを共に見守っていきたいと思います。

ベビーマッサージ

3か月くらいから10か月くらいの赤ちゃんを対象にベビーマッサージのご案内をしています。講師は助産師さん。子育ての悩みも気軽に聞いていただけます。

運動あそび

成長段階に合わせて様々な機能を使い、子どもの能力を引き出す運動遊び。月1回 講師をお迎えして行われます。

読み聞かせリズムあそび

スタッフが絵本の読み聞かせや手あそびをしたり、親子でリズムあそびを楽しみます。

おやこボックス

親子でエアロビクス！音楽やリズムに合わせて楽しく身体を動かします。月1回 講師をお迎えして行われます。

誕生日会（毎月）
年齢別のひろば
子育て講座
救急法
絵本の貸し出し
e.t.c.

☆一時預かり

月曜日から金曜日（※祝祭日などを除く）の9:00～17:00までの間、1歳から就園前までの子どもをお預かりします。
※1週間前までのお申込みで、利用料金は1時間500円です。子育ての中で、ちょっと自分の時間が欲しい時（趣味・美容院・通院など）や、誰にも預けられない時などにご利用いただける事業です。

☆ブックスタート

8か月のお子さんを対象にスタッフやボランティアさんが5冊の本の読み聞かせをして、気に入った1冊をプレゼントする事業です。対象のお子さんには案内をお送りしています。

☆園開放

親子で保育園の子どもたちと遊んだり、保育園の生活を知る機会です。季節の遊びを体験したり、園生活について保育士に話を聞くこともできます。

☆療育事業

子どもの育ちについて、子育てについての悩みや心配ごとなど、保健師と一緒にお手伝いさせていただきます。（巡回療育5歳児健診 など）

お問い合わせ

南木曾町教育委員会子どもすくすく係 TEL0264-57-3335

※子育て支援に関する詳しいことは「なぎそ 子ども・子育て支援ハンドブック」から！



南木曾町では移住された子育て世代の皆さんへのサポートを行っています。

子育てサポート

南木曾に住もう！Q&A

Q 夏の暑さや冬の寒さはどうですか？

A 町内は標高差が大きく、地域によって気温が大きく異なります。夏は日中の気温が30℃を越えるところもありますが、山や川が近く風も吹いているため適度に夏らしさを味わうことができます。また、夜は涼風が吹き込み、快適に過ごすことができます。冬はスタッドレスタイヤが必需品です。積雪量は地域によって差があります。日照時間が短い所では雪がなかなか消えませんが、降水量が多く、大雨になるときもありません。気象の変化には注意が必要です。

Q 住むところはあるの？

A 町には空家バンク制度があり、何件か登録されています。空家バンク以外にも、町営住宅もありますので、町ホームページをご覧ください。お問い合わせをお願いします。

Q 交通手段は何があるの？

A 主な交通手段は車です。それ以外は、本数が少ないですが地域バスがあります。ただし、

時間が決まっているので、車がないと不便です。電車はJR中央線が通っていて町内に3駅あります。通勤通学で利用している住民もいます。中津川・名古屋方面や松本方面へのアクセスは良いですが、時間帯によっては乗り遅れると1時間待ちというところもあるので、注意が必要です。

Q 買い物はどうしているの？

A 町内には2軒のスーパーと1軒のコンビニがあります。隣接する飯田市へは自動車でおおむね1時間、岐阜県中津川市までは約30分、大型店での買い物も可能です。インターネットを利用して通販をされている方もいます。

Q 働き先がないと不安…就労環境はどうですか？

A 町内企業はもちろん、自動車で30分、電車で20分以内なら郡内の大桑村・上松町、隣接する岐阜県中津川市も通勤圏内です。名古屋や松本市まで通っている人や、リモートワークをされている人もいます。働き方は様々で、木工業や製造

業、宿泊業など様々な分野で活躍されています。

Q 地域のお付き合いはどんなことがあるの？

A 消防団や各地区の自治会（地域振興協議会）、地区によっては若者の団体もあります。消防団は3地域の分団と役場、ラップ隊を合わせた5分団で構成され、男女問わず皆で地域の安心・安全を守ります。活動としては、防災訓練や火の元点検、出初式などの行事も行っています。

自治会では7地区の公民館分館が各地区で運動会、文化祭などの開催をはじめ活発な活動をしています。季節によっては草刈りや雪かきがあります。他にも、地歌舞伎や神楽獅子など、地域ごとに独自の強い伝統文化が息づいています。

Q 移住者でも地域活動や行事に参加できますか？

A もちろん参加できます。移住してきて仲良くなるには、そういった活動や行事に参加するのが一番の近道です。ご近所さんや同じ地区の人たち、町内の色々な人たちと知り合うことができます。仲良くなれます。「郷に入ったら郷に従え」と言われますが、すれ違う人でも気軽に挨拶

ができる距離感ですので、積極的に参加して地域の風習や伝統を地元の人と一緒に楽しむことがお勧めです。

Q 遊ぶところ、有名なスポットはありますか？

A アニューズメント施設はありませんが、豊かな自然に囲まれており、南木曾岳、柿其渓谷、田立の滝など、トレッキングに人気のスポットが数多くあります。他にも、国選定重要伝統的建造物群保存地区の「妻籠宿」、史跡「中山道」、近代化遺産「桃介橋」など、多くの文化遺産に恵まれています。





家族・仲間の絆を大切に

2007年
移住

松原 彰さん(南木曾町出身)

奥様 未来さん(愛知県出身)

お子さん 陽君 結瑞ちゃん 蒼君

お仕事 彰さん 南木曾発条(株)

未来さん 木曾森林管理署
南木曾支署



移住したきっかけを教えてください

彰さん 南木曾が好きだったし、おばあちゃん子だったので、帰ってきたのは自然な流れでした。都会育ちなのに「私、田植えしますー!」と一緒に来てくれた妻には感謝しています。

未来さん 子どもを育てるなら絶対自然が豊かな所で、と昔から思っていたんです。南木曾に来てみたら、ほんとど「となりのトトロ」の世界(笑)。毎日がアウトドア!毎晩がプラネタリウム!子ども達も、のびのびと育っていて嬉しいです。

帰郷して良かったなと思うことは?

彰さん 小さい頃からこの町でサッカーをやっていた自分としては、子どもの成長にスポーツはとても大事だと思っています。その点、南木曾には総合型スポーツクラブの「なぎぞチャレンジクラブ」があり、バックアップ体制がしっかりしているのが嬉しいですね。

この町で暮らして気づいたことは?

未来さん 町を盛り上げるためのイベント「な

ぎのこマルシェ」の実行委員をやらせてもらいました。何でもすぐに手に入る都会に居たら、自分からチャレンジしようなんて思わなかったら、仲間と一緒に「ないなら自分たちで創り出そう!」って気持ちになれて、やりがいを感じました。

移住を考えている人へのメッセージは?

お二人 自分を知ってもらうために、積極的に地域の集まりへ出ていくことは大事だと思います。南木曾の人はとても温かいので、頼るといろいろ助けてもらえますよ。そうすることで、信頼関係を築いていくこともできると思います。

あなたの「元気」の素は何ですか?

彰さん じいちゃん、ばあちゃんから私の子ども達まで、この大家族の暮らしですね。

未来さん 子どもや、家族の笑顔。そして、この町に来て築けた人との関係ですね。



○南木曾町に移住された皆さんの声をお届けします。

○皆さんの詳しい内容は役場 HP の「移住定住情報」からご覧いただけます。



2006年
移住

木曾観光の 南の入口として

高橋 俊吾さん
(南木曾町田立出身)

奥様
育子さん(愛知県出身)

お子さん
鼓陽ちゃん 想乃奏ちゃん

お仕事
2人とも 高橋溪流 自営



帰郷して気づいたことはありましたか？

俊吾さん 久しぶりに地域の祭り(田立花馬祭り)に行ったら「あれ？こんな若い人少なかったっけ」と驚きました。ずっと暮らしていれば緩やかな変化で気づかなかったかもしれませんが、久々に見た祭りは「小さくなった」イメージ。消防や商工会でしばらく離れていた人たちと再び繋がっていく中で、地域の課題も見えてくるようになりました。

その課題にどのように向き合っていましたか？

俊吾さん 町を盛り上げることが自分の商売を盛り上げることだし、町を盛り上げるためには木曾地域全体が盛り上がりつついかなくてはならないと気づき、様々な活動に参加してきました。

コロナ禍の地域を応援するイベントを企画したそうですね？

俊吾さん 商工会青年部の仲間と、「ヤムヤムキャラバン(美味しい商隊)」という木曾郡内のテイクアウトメニューが一堂に会するイベントを運営しました。美味しい料理を準備してくだ

さった店の方と、来場してくれた皆さんの想いを繋ぐことができたのが嬉しかったです。今後も人と人の想いを繋ぐきっかけ作りをしていきたいと思っています。

あなたの「元氣」の素は何ですか？

俊吾さん 昔からじっとしてられない性質で(笑)人が愉しんでくれる事を探すのがモチベーションでしたから、元氣でいられる素は、もちろん家族も含めて「誰かの笑顔」です。

これから移住する人へ、メッセージ(アドバイス等)はありますか？

俊吾さん うちの奥さんは愛知県の出身で、移住してきた当初はポツンと一人みたいな感じだったんですが、今は、町の奥さん達のネットワークに参加して、時々皆で会食などをしたりして愉しそうちにやっています。土地の人の交流を積極的にしていくことが大切ですね。まずは住み始めた地区から始めて、交流の輪を徐々に広げていけばいいと思います。

地域おこし協力隊として移住しました

私が南木曽町に興味を持ったきっかけは、原木から仕上げまでを一貫して行う南木曽ろくろ細工でした。地域おこし協力隊として、地域をおこす手伝いができればと思っていましたが、思い返すと地域の皆さんに助けていただいたことばかりが思い出されます。

私は、協力隊になる前に南木曽町を二度訪れています。一度目は木地師の里へ。私が南木曽町に引っ越す前の年の初夏頃でした。滞在時間は半日程度で



伊藤 史織

任期

2018年4月～
2021年3月

観光も寄り道もしませんでした。当時は美しい景色もろくに見ずに帰ったように思います。再び訪れたのは半年後、協力隊の面接のために南木曽町を訪れました。このときは電車を待っている間に妻籠宿を訪れることができました。一通り見て回り、帰ろうとしたところバスを逃してしまっていたことに気づきました。次のバスまでは時間がありませんでした。そのため、歩いて駅まで行こうと私は思いましたが、私に声をかけてくださ



ろくろ細工の漆塗り



方がいたのです。その方のご厚意で私は駅まで送っていただけることになりました。駅まで用事があるからと仰っていました。今思うとバス停の付近で困っていた私を見かねて助けてくださったように思います。

そのため、協力隊採用の連絡をいただいた時は、4月から南木曽町で暮らすことができるのだと、とても嬉しかったです。地域おこしのお仕事をしながら木工を学ぶために、南木曽町にお世話になるうと決めてきました。南木曽町で働くことが、あの時のお礼にもなると思いましたが、南木曽町で暮らしてみると、自分が想像していたよりも温かく住民の皆さんが迎え入れてくださったことを覚えています。南木曽町の厳しい自然の中で暮らしてこられたのは、困ったときに手を差し伸べてくださった方や見守ってくださった方のおかげです。

一年目は、仕事を覚えることに必死で

一年目は少しずつできることが増えてきたように思います。なぎのこマルシェに出店できたことは、地域の皆さんに普段学んでいることを実際に見ていただく良い機会であったように感じます。

二年目は、ひたすら今できることをさらに精進させていくことを意識しました。新型コロナウイルスの影響もあり、思うような活動ができませんでしたが、その分じっくりと腰を据えて研修に励むことができました。

任期終了後も、南木曽町で南木曽ろくろ細工について学んでいきます。まだまだ未熟者ですが、協力隊としてではなく一人の南木曽町民として、少しでも「地域をおこす」協力ができればと思います。



子育て世代のお母さん方が主催の手作りイベント
なぎのこマルシェへの出展



○地域おこし協力隊員による情報発信を行っています。

協力隊での任期は南木曾町での生活のスタートラインに立つための過程だったと感じています。南木曾町での3年間は本当にあつという間でした。日々の生活においてはお隣の方と畑を耕したり、散歩途中に声をかけてもらいお茶をごちそうになったり、川の水の冷たさを感じたり、夜空の美しさに目を奪われたり、子熊や狸など獣に道端で遭遇したり、いわゆる自然と人情豊かな田舎暮らしを書ききれなくらい実感

することができ、神奈川県出身の私としてはかなりの衝撃を受けました。都会の夜景やネオンもきれいですが地元にした時よりも四季の変化、経過をより強く感じるができるようになり精神的にも豊かな生活を送っているように思います。
任務として南木曾ろくろ細工の研修で木と向き合う時間はとても刺激的で、同じ製品の製作においても一つとして同じ木はなく、一つ一つの木と初対面



中根 達朗

任期

2018年4月～
2021年3月



ろくろ細工の技術を応用して、照明器具も制作しました



で向き合い続ける感覚でした。3年間という短い期間ではありますが、その期間の中で毎日木との新しい出会いを重ねさせていただきました。木を通して自分自身や人を見るような、ある意味人との対話よりも、より濃密な対話をさせていただいたように感じています。また自分の技術の未熟さ、木に対する意図の浅はかさを木や親方の道具からも教わり続けた日々でもありません。木目の方向、刃物やペーパーを当てる角度、力加減、スピード…上手くないじゃないときには木や道具からも「そっじゃないよー」と訴えかけられています。南木曾ろくろ細工の製品に至るまでに表現しきれないほどの要素の集約が込められていることを肌で感じる日々でした。この集約の集積が伝統工芸たる所以であり魅力と思っています。
任期終了後は、南木曾町へ定住するため木曾郡内の企業に就職しました。生活の糧として、今後もお世話になった



令和2年1月 東京のカフェー画にあるギャラリーでの展示会

皆様と手を取りあい、教えていただいた貴重な技術を磨くための環境整備を継続しながら南木曾ろくろ細工に関わり続け、南木曾町の一員として新たなスタートを切りたいと考えています。

南木曾町情報発信中！



南木曾町公式HPは
こちら




南木曾町の移住に関する
専用ページはこちら



南木曾暮らし 移住



 Twitterでも発信しています！



南木曾町観光

木曾郡6町村みんなで
移住推進してます

木曾地域6町村の
移住情報ポータルサイト
「KISO KURASHI」
<https://kiso-life.jp>



なぎそまち

移住に関する
お問い合わせ

ホームページ

南木曾町役場 もっと元気に戦略室

TEL 0264-57-2001

〒399-5301 長野県木曾郡南木曾町読書3668番地1

<http://www.town.nagiso.nagano.jp>